

アナ・ビアルディ

世界銀行専務理事(業務統括)



世界で最も喫緊の開発課題である貧困、気候変動、食料不安、債務、格差、パンデミック、紛争の解決に向け、総額3,400億ドル規模のポートフォリオを統括して世界銀行の取組みを主導。

国際開発、公共政策、官民パートナーシップの分野で30年の経験を有し、迅速かつインパクトの大きな成果の実現に向け、世界銀行の業務を推進。世界銀行はビアルディのリーダーシップの下、気候関連プロジェクトに過去最高水準の融資を実行し、2030年までにアフリカ大陸で3億人にクリーンな電力供給を目指すなど、大胆かつ野心的なプログラムに着手。

また、世界銀行の業務の効率性と有効性を高める取組みを主導。イノベーションと説明責任の文化醸成を目指し、130超の現地事務所の職員を動員して、スピード、規模、品質、インパクトの向上に注力。2024年、世界銀行グループ全体での相乗効果拡大のため複数のグループ機関の国別共同代表制を導入した際に大きく貢献。これにより被援助国における官民両部門のソリューション統合促進が期待されている。

協調を重んじるリーダーとして、国際機関、ドナー、市民社会、民間部門などの主要なステークホルダーと強力なパートナーシップを構築した実績。

直前は、欧州・中央アジア地域 (ECA) 担当副総裁として、一連の複合的ショックを乗り越えられるよう同地域を導き、迅速な資金調達とインパクトの高いソリューションを通じて過去最大の対ウクライナ支援を動員。それ以前は中東・北アフリカ地域担当戦略・業務局長。

2015～18年、世界銀行の持続可能な開発グローバル・プラクティスにて融資と分析業務を統括。アフリカと中東で大規模なエネルギー移行・政策プログラムを主導するなど、持続可能なエネルギー・インフラの専門家として知られ、途上国及び世界銀行のエネルギー部門における女性のエンパワーメントにも貢献。

ジェンダーの平等の熱心な推進者で、世界の開発を主導する人物として突出した存在。2024年にスウェーデンの経済紙ダーゲンス・インダストリーによって「今年の国際リーダー」に選ばれるなど、同国有数の影響力のある女性。また、世界のリーダーとの対話をまとめたビデオ・シリーズ「[トーキング・ディベロップメント](#)」のホスト役。

1997年の世界銀行入行以前は、ロンドンのジェミニ・コンサルティングの上席戦略コンサルタント。

ストックホルム大学経営・経済学修士。

「混迷する世界では、スピードと規模、インパクトが成功をもたらす。実際、他に選択肢はない。世界が進歩するには、協調行動と緊迫感が求められるからだ」

問い合わせ先

+1(202) 473-7660
press@worldbank.org

ソーシャルメディア

X: https://x.com/bjerde_anna
Instagram: https://www.instagram.com/bjerde_anna/
LinkedIn: <https://www.linkedin.com/in/anna-bjerde/>